

## 【招待講演 2】

### 不確かさを抱擁するソフトウェア開発

鵜林 尚靖

九州大学 大学院システム情報科学研究院

ソフトウェア開発において、不確かさは、「顧客の要求が曖昧」「設計や実装の方法が確定していない」などの理由で発生する。開発者にとって、不確かさは避けようにも避けがたい問題の一つである。David Garlan は、伝統的なソフトウェア工学は「計算環境は予測可能であり原則として完全に仕様化できる」という神話に基づいていると問題提起した上で、不確かさを抱擁するソフトウェア工学の樹立が極めて重要だと指摘している。本講演では、ソフトウェア開発の中で不確かさを明示的にマネジメントするための手法や開発環境を紹介する。さらに、実際のソフトウェア開発において「いつ、どのような理由で不確かさが発生するのか」「不確かさの問題はどのように対処されるのか」について、オープンソースソフトウェアプロジェクトを対象に実証分析した結果についても紹介する。